



札教生第 8232 号

平成 30 年 (2018 年) 12 月 18 日

札幌市 P T A 協議会

会長 土田 修 様

札幌市教育委員会

教育長 長谷川 雅英



「平成 31 年度札幌市文教施策に関する要望書」への回答について

初冬の候、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

また、日頃から本市の教育行政に格別の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成 30 年 10 月 26 日付けで御提出いただきました標記の要望書につきまして、
別紙のとおり回答いたします。

札幌市 P T A 協議会

「平成 31 年度札幌市文教施策に関する要望書」に対する回答書

：所管課

要望内容	回 答
(1)学校教育に関して	
【教職員及び少人数学級に関して】	
<p>児童生徒一人ひとりへのきめ細かい教育・指導を求めるのと同時に現場の先生たちの長時間労働の削減・負担軽減の為にも教職員・加配教員の増加を希望いたします。</p>	<p>教職員定数及び加配定数の増員等、義務教育の一定水準の確保については、国が保障すべきものと考えております。今後も、様々な機会を通じて、国に要望してまいります。</p> <p>なお、教員の長時間労働の実態についても、解消すべき喫緊の課題と捉えていることから、引き続き精力的に取り組を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">教職員課</p>
【英語教育について】	
<p>児童に実践力がつく指導を望む声が多いことから、外国語活動・英語の専科教員、ALTを含む外部人材等の増員を希望します。</p>	<p>これまで、児童にコミュニケーション能力が身に付くよう、ALTの増員及び活用を進めてきたところですが、今後も今年度から始まった小学校における3・4年生の外国語活動、授業時間が増加した5・6年生の外国語活動の授業において、専科教員、ALTなどの様々な人材を積極的に活用することで、英語教育の充実を図ってまいります。</p> <p>なお、専科教員に係る加配定数の増員については、様々な機会を通じて、国に要望してまいります。</p> <p style="text-align: right;">教育課程担当課、教職員課、研修担当課</p>
【特別支援について】	
<p>多岐にわたる障がいに対応する為にも特別支援の教職員の増加を希望いたします。また、通級指導についても障がいによって近くに通える教室がなくて、区をまたいでの移動を伴う状況もある事より、通級指導教室の増設・適正配置を希望いたします。</p>	<p>教職員定数及び加配定数の増員等、義務教育の一定水準の確保については、国が保障すべきものと考えております。今後も、様々な機会を通じて、国に要望してまいります。</p> <p>通級指導教室の増設については、国による通級指導にかかる教員の配置基準を勘案しながら、通級指導を受ける児童生徒数に応じた適正配置をし、通級指導教室の充実に向けた取組に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課、教職員課</p>
【スクールカウンセラーに関して】	
<p>相談を希望していても利用出来ない現状を踏まえ、スクールカウンセラーの配置時間の更なる増加を希望いたします。</p>	<p>スクールカウンセラーの配置については、早期からの相談を充実するため、小学校へ週1回配置できるよう、段階的に配置時間を拡充してきているところでございます。</p> <p>また、各学校の状況に応じたスクールカウンセラーの有効活用について、検討を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">児童生徒担当課</p>

【学びのサポーター・相談支援パートナーについて】

助けを必要としている児童生徒に確実な支援をしてもらえるよう各学校における派遣時間の増加を希望いたします。また、小学校にも相談支援パートナーのような役割を果たす人材の登用を希望いたします。

(学びのサポーターに関して)

学びのサポーターについては、1校あたりの年間活用時間数を段階的に拡充してきた他、平成27年度からは、市立高校への配置拡大、肢体不自由のある児童生徒への身体介助を専門に行う介助アシスタントの配置など、制度の充実に努めてきました。

今後も、各学校が実情に応じて弾力的に学びのサポーターを活用できるような運用を進めてまいります。

(相談支援パートナーに関して)

相談支援パートナーについては、全中学校に配置するとともに、小学校10校に相談支援パートナーへの指導助言等を行う相談支援リーダーを配置し、不登校の支援を行っています。併せて、現在、相談支援パートナーを小学校5校に派遣し、モデル的に試行しているところです。

今後は、モデル校での効果検証をもとに、小学校における相談支援パートナーの効果的な活用等について検討を進めてまいります。

教育推進課、教育相談担当課

【学校図書に関して】

低年齢からの読書習慣の定着化を図るためにも、小学校についても全校に、最低でも地域開放図書館のない学校へは学校図書館司書を配置することを希望いたします。

児童生徒の主体的、意欲的な読書活動推進に向けて、低年齢からの読書習慣の定着化については、その重要性を認識しているところです。

学校図書館司書の配置を進める中学校とともに、小学校においても学校図書館地域開放事業を含めて、学校図書館運営のよりよい在り方について検討を進めてまいります。

教育課程担当課

【スキー学習・校外学習について】

保護者にとって経済的な負担のあるスキー学習について、学校の事情を考慮し、それ以外の形での「雪に親しむ体力づくり」としての対策を希望いたします。

国が定めた学習指導要領においては、スキー等の自然との関わりの深い活動について、学校や地域の実態に応じて積極的に行うことと記されており、札幌市においては、札幌らしい特色ある学校教育として、スキーを通して、生涯にわたって運動を楽しみ、たくましく成長していくよう位置付けています。

そのため、教育委員会では、スキー学習を実施する学校においては、保護者の理解と協力の下、工夫して実施するよう、全ての学校に指導しているところです。

また、実施に係る費用負担の軽減として、スキーリサイクル事業を実施しておりますが、今後も事業を推進するとともに、就学援助制度における体育実技用具助成の周知を進めるなど保護者負担に充分留

	<p>意した校外学習となるよう指導してまいります。</p> <p>各学校は、児童や地域の実態等に応じた「健やかな身体」育成プログラムを作成・実施しており、冬期間におけるスキー学習等を含め、年間を通じた体力づくりに努めております。</p> <p style="text-align: right;">教育課程担当課</p>
【部活動に関して】	
<p>部活動の充実と、部活動顧問の負担軽減のためにも、複数で指導が出来るよう、外部人材の更なる活用を希望いたします。</p>	<p>運動部活動の充実に向けて、退職教職員や地域の人材等を外部人材として活用しています。部活動の維持や顧問教諭の負担軽減に有効であることから、今後も外部人材の活用を積極的に進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">児童生徒担当課</p>
【幼稚園について】	
<p>幼児教育無償化に向かう中で、短期での預かり保育に関しても無償化の対象とする、あるいは1時間単位での料金設定・月額の上限設定を希望いたします。</p>	<p>幼児教育の無償化に伴う、預かり保育の無償化については、国から詳細が示されていないため、今後国などからの情報収集に努めてまいります。</p> <p>また、料金設定については、幼児教育の無償化による利用者の増減の見通しと預かり保育を推進していくための事業費を鑑み、慎重に検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">幼児教育センター</p>
(2) 予算に関して	
【教育関連予算に関して】	
<p>教育活動が円滑に行われ、また「算数に一ごプロジェクト」の様に札幌市独自の施策がより行われる為にも、関連予算の維持・増額を希望いたします。</p>	<p>本市の厳しい財政状況の中、教育委員会としても、これまで以上に充実した教育環境の実現を目指し、今後とも必要な予算の確保のため、関係機関に働きかけていきます。</p> <p>その際には、貴協議会や教育現場等からのご意見を反映させたいと考えておりますので、今後ともご理解とご協力をお願いします。</p> <p style="text-align: right;">総務課</p>
【読書活動推進事業に関して】	
<p>児童生徒に豊かな読書環境を提供するため、図書購入費の増額など読書活動推進事業に係る予算の維持・増額を希望いたします。</p>	<p>依然として厳しい財政状況ではありますが、子どもたちの読書活動を活発なものとするよう、今後も必要な予算の維持、確保に努め、学校図書館の蔵書充実を図ってまいります。</p> <p>また、学校図書館地域開放事業において、PTAを中心に地域の皆様に学校図書館運営に携わっていただきながら児童生徒の読書環境の充実に取り組んでおり、事業の継続、実施校の拡大のため、今後も必要な予算の維持、確保に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">学校施設課、生涯学習推進課</p>

【PTA活動に関して】

現状の基盤維持及び強化のため、今年度と同様の助成を希望いたします。

貴協議会が行う学校・家庭・地域等との連携による教育力向上の取組、子どもの健全育成のための諸事業は、本市の社会教育の振興に大きく寄与するものと認識しております。

厳しい財政状況の中ではありますが、今後も、これらの事業に対する支援を継続してまいりたいと考えております。

生涯学習推進課